

TURE-TECH事業の概要

事業概要

- ・ソフトバンク(SB)が実施する地方創生インターン事業
- ・SBは人材発掘の機会を、自治体は 優秀な学生から地域課題の解決の提案を、 学生は学びの機会を得る3者にとって Win -Winのモデル事業。



・例年2,000名を超す学生応募の中から選考された約30名の学生が自治体に滞在し、フィールドワークを中心に地域課題解決策をまとめ、首長に直接提案するもの。

※令和3年度は、嘉麻市及び愛媛県新居浜市で実施。応募学生は2,479名。

役割分担

区分	事業運営	費用負担
ソフトバンク	社員が事業期間中に自治体に滞在 し各種調整を行う。	学生・社員の宿泊滞在費など、運営に必要な経費
自治体	地域課題の解決に向けた学生のサポートや研修場所の確保など	学生等の送迎費(移動手段) ・近隣空港等拠点⇔宿泊場所⇔研修場所 ※SBに支払う金銭的な負担はない

TURE-TECH2022の決定

経緯

- ・R3年9月 R3年度事業実施 (オンライン)
- ★地域課題採択結果
- ▶ A 市産品を活用したご当地商品の開発について(前向きに検討)
- ▶ B 松岡家住宅の持続的な活用をめざした事業モデルの創出 (「文化財の保存と活用」の嘉麻市モデルの創出) (前向きに検討)
- ▶ C 日本酒による嘉麻市ブランディング戦略構築(採択)
- ▶ D 関係人口の創出施策 (採択)
- ▶ E ふるさと納税額の更なる発展に向けた戦略施策 (採択)
- ・R3年12月 SBよりR4年度候補地公募の案内
- ·R4年1月 R4年度実施誘致体制立上げ 職員へ課題公募・1次選考
- ·R4年2月 SBへ候補地選考の申し込み
- ·R4年4月

嘉麻市での開催決定

R3年度事業総括

(R3.12総務財政委員会報告)

評価項目	想定した効果	実際の効果	評価
① 交流人口の拡大	学生やソフトバンク社員等約50人へ嘉麻市を知ってもらう機会を提供	・参加学生・ソフトバンク社員 42 人へ嘉麻市認知の機会を提供。 ・アンケートより、33 名中 31 名が嘉麻市をまったく知らなかった → 全員が「嘉麻市を好きになった」「応援したい」「行ってみたい」と回答。 ・本事業をきっかけに、学生の親族やソフトバンク社員がふるさと納税をしたとの報告があった。	0
② 優秀な学生からの地域課題解決策の提案	他自治体の例から、採択は 1、2件を想定	・採択数3件 ・学生から採択された事業推進に関わりたいとの関係継続の意思あり ・職員より他の事業にも「部分的に応用できる提案があり参考にしたい」、「改めて嘉麻市の魅力を実感した」との意見あり	0
③ インターンシップに携 わる職員の人材育成	課題抽出から、政策形成・企画書作成力の向上	・関係職員とコンサルタント会社との3度にわたる壁打ちミーティングの経験。学生が1週間で解決策を導くための仕様書を作成。・関係職員アンケート回答者(12名)全員が「得るものがあった」と回答。 (例:「課題の設定とその根拠、また課題へのアプローチ方法」「業務に対するモチベーションが上がったように思う」)	0
④ 話題性の確保	市の取組について、市内外へ発信	・新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言中かつ台風の影響により、市長プレゼンの一般開放中止や新聞各社の取材中止等、市内外への発信が十分に行われなかった。 ・協力いただいた市民・関係者から関心あり。 ・今後提案事業の推進状況について、ホームページ・SNS等で掲載予定。	Δ

実施体制

実施体制

事務局

嘉麻市へTURE-TECH委員会2022

統括リーダー	原田人事秘書課参事	
副リーダー	小林地域活性推進課長	高井産業振興課長補佐
メンバー (サテライトオフィス関 係職員)	篠崎産業振興課長 松隈地域活性推進課長補佐 福丸民間活力導入MG 大村企画財政課長 穴見企画調整係長 小泉シティプロモーション推進員	松岡企業誘致係長 山口地域整備係長 縄田人事秘書課長 宮田企画財政課長補佐 児玉企画調整係主任

R3年度は学生として参加(Eチーム)し、市長にプレゼンを行った

課題解決サポート職員

- ・職員人材育成等の観点から、本事業を職員研修事業として位置づけ
- ・1チーム職員4~7名で構成 ➡ 5チーム合計28名が参加(課題提案職員、課題関係課職員、参加希望・公募職員、若手職員など)

地域課題

選考経過

·職員公募(応募期間:R4.1.13~1.28) → 12課題応募

·1次選考(書面審査: R4.2.8~2.9) → 12課題選考

·最終選考(市長選考: R4.4.25) → 5課題選考

実施課題(5)

チーム	地域課題のテーマ		
А	九州りんご村の後継者不足について		
В	地域コミュニティ活性化		
С	里山整備と有害鳥獣 → 竹と戯れ里山整備	《令和4年8月》 題名変更	
D	農業と福祉(障がい者や高齢者)の融合。		
E	デマンド運行型バスのアプリ予約件数増加に向けた取り組みについて		

※応募された地域課題は別添資料を参照ください

実施日程

《令和4年8月》 開催方法変更

2022年8月20日(土) ~ 8月26日(金)

·事前研修: 8月20日(土)

・課題取り組み: 8月21日(日)~8月24日(水)

・市長プレゼン: 8月25日(木) ⇒ 場所:なつき文化ホール

·事後研修: 8月26日(金)

※新型コロナ、天候等の状況 によって 方法や日程が変更 になる場合があります

> 《令和4年8月》 場所の追加

参加者 学生30名 、 ソフトバンク株式会社社員等 約20名 (計 約50名)

実施の流れ

《令和4年8月》 実施の流れ変更

1日目(8/20)

実施期間

- ●チーム研修
- •嘉麻市紹介



2日目(8/21)

市職員・市民へのインタビュー



3日目(8/22)

- 中間発表①
- ●市職員・市民 へのインタビュー



4日目(8/23)

- •追加インタビュー
- ・ワーク
- ●中間発表①



5日目(8/24)

•中間発表②



6日目(8/25)

•市長プレゼン



※写真はイメージです

参考資料

- ●ホームページ
 - ●TURE-TECH(ソフトバンク株式会社)

https://ture-tech.com/

●地方創生インターンシップ『TURE-TECH』開催レポート(R3実施分) (嘉麻市)

https://www.city.kama.lg.jp/soshiki/8/23161.html

●Twitter(R3年度実施分)



9月13日からインターンシップ

『TURE-TECH』が #嘉麻市 で開催され、9月17日、市長プレゼンが行われました。学生29名が参加し、地方自治体が抱えているリアルな課題に対して、オンラインでのインタビューや現地Live配信等を通して、設定された課題の解決方法をチームで考え、市長へ提案しました。



午後8:01 · 2021年9月17日 · Twitter for Android



地方創生インターンシップTURE-TECHで市長採択された #ふるさと納税 事業を提案した学生グループ #おなかま隊 と市内事業者約20社などが事業提案に基いた協議会「モノコト会」で顔合わせを行いました。学生をはじめ参加者のアイデアなどで #嘉麻市 のふるさと納税事業の発展が期待されます。



午後6:25 · 2021年11月2日 · Twitter Web App



午後4:29 · 2021年11月20日 益富城址から · Twitter for iPhone